

# AMED理事長賞

## エクソソーム含有タンパク質をパラメーターとした健康長寿とアルツハイマー病マーカーの解明

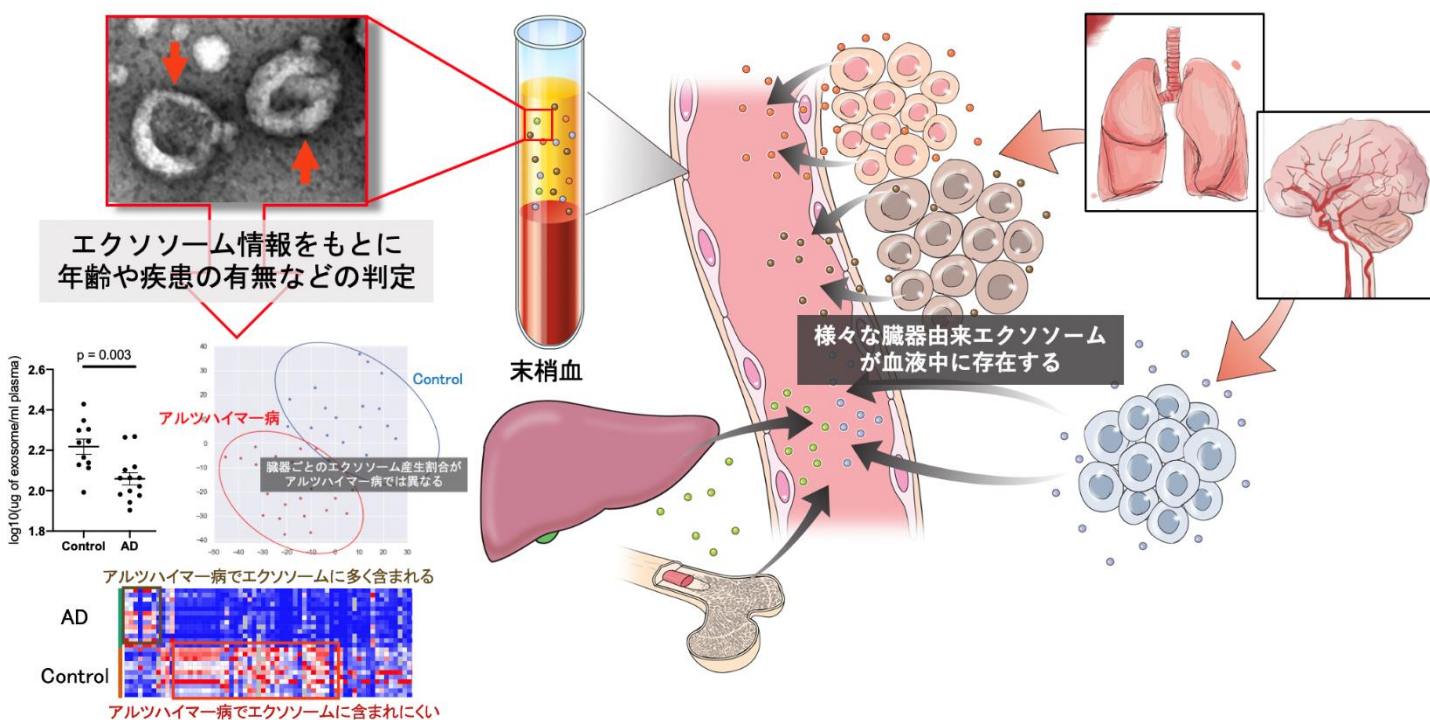
### <受賞者>

星野 歩子 (東京大学先端科学技術研究センター 細胞関連医科学分野 教授)

### <功績>

アルツハイマー病患者と健常者では血中エクソソーム\*のタンパク質組成が異なることを明らかにした。同疾患の早期診断のためのバイオマーカーとしての臨床応用が期待される。

\*エクソソームはすべての細胞から放出される微小胞で、細胞間の情報伝達ツールとして機能し、様々な疾患に関与することが示唆されている。



### <概要>

- 年齢とともに血中エクソソームは変化し、同年齢の健常者とアルツハイマー病 (AD) 患者群の血漿中のエクソソームを単離・解析し、エクソソームに含まれるタンパク質の含有量や種類、さらに由来臓器の分類が異なることを明らかにした。
- アルツハイマー病発症にエクソソームが関与している可能性を示唆する結果であり、今後、アルツハイマー病の早期診断のためのバイオマーカーとして、エクソソームの臨床応用の可能性が期待される。
- 本研究は、国際連携かつ異分野融合を推進するAMEDの取組における異分野国際共同研究であり、人工知能を活用することより成果が結実した。